

1 令和5年中の青森県内における交通事故発生状況（総括）

令和5年中の交通事故発生状況は、

- 発生件数 2,619件（前年比 + 244件、+ 10.3%）
- 死者数 45人（前年比 + 14人、+ 45.2%）
うち、高齢者 25人（前年比 + 10人、+ 66.7%）
- 負傷者数 3,099人（前年比 + 246人、+ 8.6%）

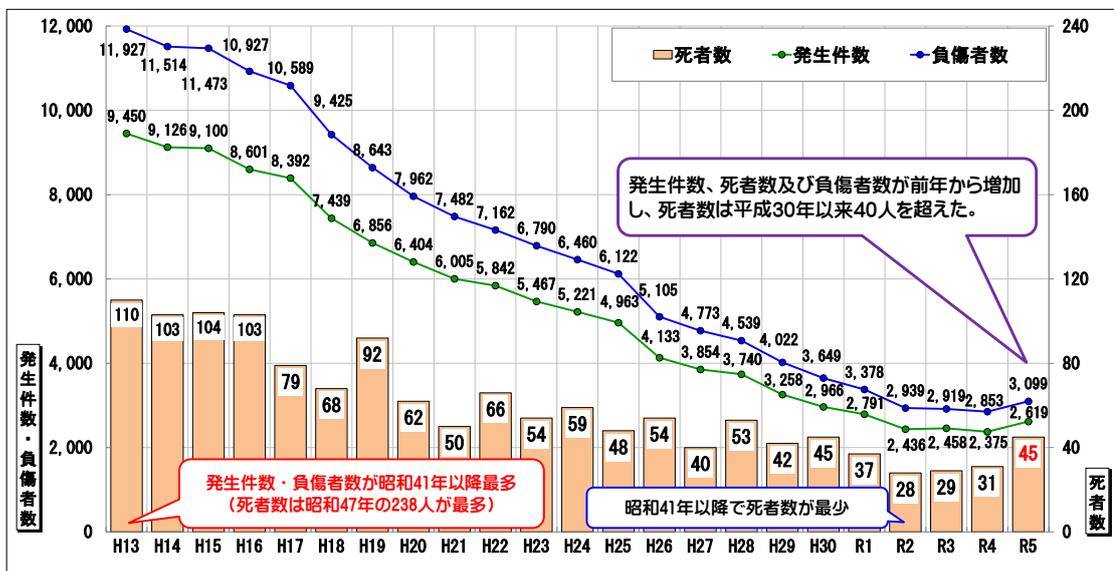
で、発生件数、死者数及び負傷者数は前年より増加し、死者数は平成30年以来40人を超えた。

令和5年中の交通死亡事故（45件45人）の主な特徴としては、

- 歩行中の死者数は22人（前年比+7人）で、全死者数の48.9%を占めた。
- 自動車乗車中の死者15人（前年比+4人）中、シートベルト非着用死者は7人（前年比+2人）で、自動車乗車中の死者数の46.7%を占めた。
- 飲酒運転による死者数は4人（前年比+2人）で、全死者数の8.9%を占めた。
- 自転車乗車中の死者数は4人（前年同数）で、全死者数の8.9%を占めた。
- 県内に所在する安全運転管理者選任事業所の運転者が第1当事者となった死亡事故の死者数は18人（前年比+13人）で、全死者数の40.0%を占めた。

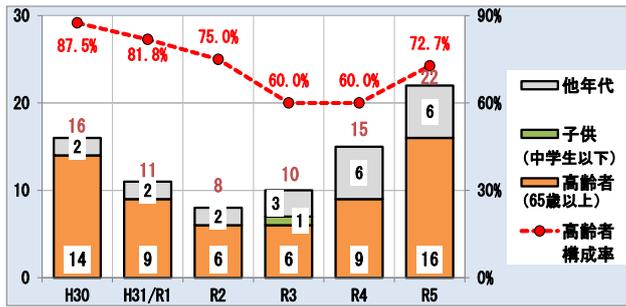
などが挙げられる。

2 交通事故発生状況推移



3 交通事故の主な特徴

(1) 歩行中の死者数の推移

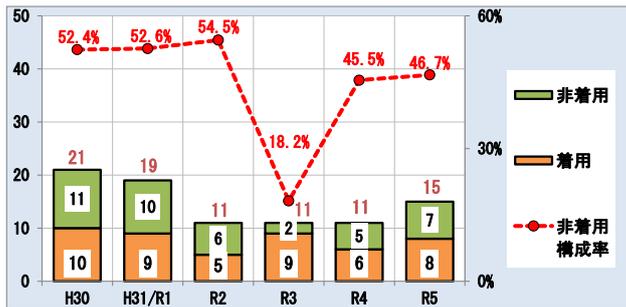


【歩行者安全対策】

歩行中の死者数は22人（前年比+7人）で、全死者数の48.9%を占めた。

また、歩行中の死者22人中、高齢者の死者は16人（前年比+7人）で、歩行中の死者数の72.7%を占めた。

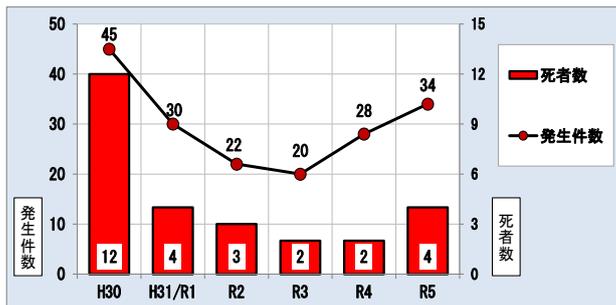
(2) 自動車乗車中の死者数の推移



【全席シートベルト着用対策】

自動車乗車中の死者15人（前年比+4人）中、シートベルト非着用死者は7人（前年比+2人）で、自動車乗車中の死者数の46.7%を占めた。

(3) 飲酒運転による交通事故発生状況の推移



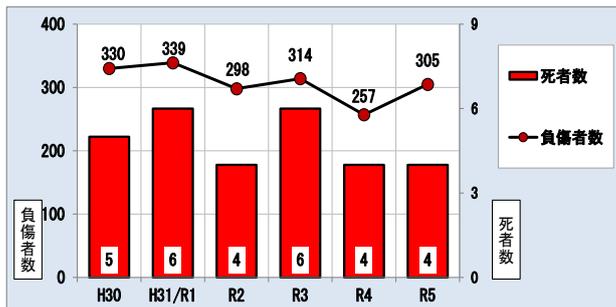
【飲酒運転等根絶対策】

飲酒運転による死者数は4人（前年比+2人）で、前年より増加し、全死者数の8.9%を占めた。

また、飲酒運転による交通事故が34件（前年比+6件）発生し、前年より増加した。

※ 飲酒運転（第1当事者・原付以上・飲酒あり）

(4) 自転車乗車中の死傷者数の推移

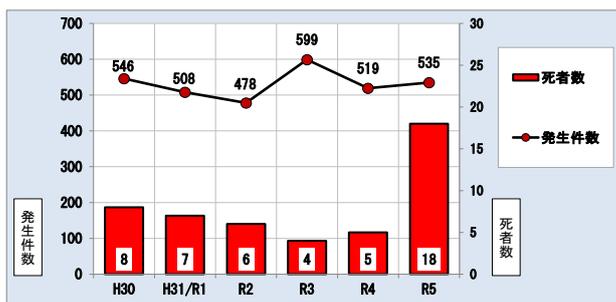


【自転車等総合対策】

自転車乗車中の死者数は4人（前年同数）で、全死者数の8.9%を占めた。

また、負傷者数は305人（前年比+48人）で、前年より増加した。

(5) 安全運転管理者選任事業所運転者による交通事故発生状況の推移



県内に所在する安全運転管理者選任事業所の運転者が第1当事者となった事故の発生件数が増加し、死者数も18人（前年比+13人）で大幅に増加した。

※ （県内の安全運転管理者選任事業所・第1当事者・原付以上・業務私用の別を問わない）